

2023年度事業報告書

(自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月31日)

事業の概要

1. 奨学事業 118,206千円

(1) 奨学給付費 計 103,980千円

(国内大学)

① 大学生に対し、月額50千円の奨学金を支給した。

(52人 × 50千円 × 12ヶ月 = 31,200千円)

② 大学院生に対し、月額60千円の奨学金を支給した。

(54人 × 60千円 × 12ヶ月 = 38,880千円)

(1人 × 60千円 × 6ヶ月 = 360千円) 復学

(1人 × 60千円 × 9ヶ月 = 540千円) 中途退学者

③ 外国人留学生に対し、月額100千円の奨学金を支給した。

(12人 × 100千円 × 12ヶ月 = 14,400千円)

(2人 × 100千円 × 6ヶ月 = 1,200千円) 卒業者

(海外大学)

① 欧米圏の大学生に対し、月額70千円の奨学金を支給した。

(7人 × 70千円 × 12ヶ月 = 5,880千円) 2022採用 2年目

(6人 × 70千円 × 12ヶ月 = 5,040千円) 2023採用 1年目

② アジア圏の大学生に対し、新たに月額30千円の奨学金を支給した。

(8人 × 30千円 × 12ヶ月 = 2,880千円) 2022採用 2年目

(10人 × 30千円 × 12ヶ月 = 3,600千円) 2023採用 1年目

(2) 奨学生補導費 計 14,226千円

① 採用された奨学生を対象に、対面式にて奨学金目録授与式・研修会を実施し、役員・評議員及び選考委員が出席して奨学生を激励した。

本年度も海外（アメリカ、オランダ、ベトナム、タイ）でも、対面式にて実施した。

② 10月包装展示会と同時に研修会を行い、最新の包装に関する技術・情報を入手した。

③ 次年度に就職活動を開始する学生を対象に、就職活動に関するセミナーを開催し、就職活動に関するアドバイスをを行い不安の払拭を図った。（オンライン開催）

④ 7月に西日本、10月に東日本のそれぞれの地域で、一部卒業生を含む奨学生と役員等の交流会を開催し、互いの研究や活動の報告やその他の情報交換会を行いました。

2. 研究助成事業 40,164千円

(1) 研究助成費 計 39,500千円

① パッケージ分野における調査研究を行う研究者に対し、助成金の支給を行った。

(13人 計 39,500千円)

(2) 研究助成発表費 計 664千円

6月に認定式を対面式で、研究成果の発表会については、本年度もオンラインにて実施した。

3. 事業運営費 計 27,025千円

事業費合計 185,397千円